

PET ボトル簡易試験動画 ↓

https://youtu.be/fJPP67RK_9Q

水洗塗装ブース処理剤

マイノール D-750

はじめに

マイノールD-750は広範囲の塗料に有効なブース処理剤です。

従来品と比べ、フロック化する速度が速く、浮上性、分離性、脱臭性、耐腐敗性、防錆性など全てについて性能を大きく向上させました。

スプレー塗装用水洗ブースの循環水に少量添加すると、水中に取り込まれた塗料ミストをフロック化し、分離浮上させます。

大気中への塗料微粒子の飛散を防止します。生成したフロックを除去することにより、ブース循環水は常に透明で掃除や水の交換時期が延びます。またブース特有の臭気も解消されます。

特徴

1. 良好なフロックの生成

低温になる冬場でも良好なフロックを生成します。

液流の弱い箇所でも本製品の溶け残りや成分の滞留は起こりにくいです。

2. 浮上性の向上

従来品では沈降してしまっていた粉体塗料や重い顔料を含む塗料も浮上させます。

3. 分離性の向上

従来品と比べ塗料ミストの分離性が向上しておりますので、これまで透明感が得られにくかった循環水の透明度が上がります。

4. 脱臭性の向上

従来品より脱臭性を向上させました。これまで消臭剤「マイノールDN-3」を併用する必要があったブースについても本製品の単品使用で概ね臭気問題は起こりません。

5. 耐腐敗性

循環水が腐敗しやすいアクリル系塗料を含有する循環水にも対応できるようになりました。


また、休日や連休明けに強まる独特の腐敗臭(硫黄臭)の発生は大幅に低減します。

6. 防錆性の向上

従来品の防錆力を格段に高めました。これまで防錆剤である「マイノールKC-20」を併用する必要があった錆やすいブースにつきましても本製品の単品使用で対処可能です。

7. 凝集成分の高濃度化

従来品に比べ凝集成分を高濃度化しましたので、薬剤使用量が低減できます。

 **ご使用方法**（用水量が20ℓ程度までのブース）

1、ブース用水がきれいな場合（用水の更新時や設備を新設した場合など）

① 初期投入量としてブース処理剤を循環水の水量1ℓ当たり0.5L投入します。

* 1 従来品に併用していた防錆剤「マイノール KC-20」の添加は基本的に不要となります。



② 塗装開始後は本剤を塗料使用量の1~5%程度投入して下さい。
塗料ミストで濁っている循環水に透明感が得られたら足りています。
添加量は塗装量に応じて適宜ご調整ください。



③ 循環水が濁ってきた場合は、本剤の投入量を1.5~2倍に増量して数日間様子を見てください。



循環水に透明感が戻ってきた場



循環水が濁ったままの場合



弊社にて状態を確認します。
原因の究明、対応策をご提案します。



⑤ 循環水の透明感が維持するように、投入量を調整して下さい。

（塗料の種類や量、ブース設備などによって最適な投入量は異なります。）

従来品に併用していた脱臭剤「マイノール DN-3」の添加は基本的に不要となります。

2、ブース用水が汚れている場合

① ブース用水について簡易試験を行ない、ブース処理剤の必要添加率を算出します。
(0.1~0.3%程度が標準です)

下段の「ブース処理剤簡易試験方法」を参照下さい。



② 循環水量から、実際の投入予定量を算出します。
(この数量は循環水を透明にする為の必要量です。)

例) 循環水 5トン で必要添加率 0.2% だった場合。
 $5 \text{トン} \times 0.2 / 100 = 10 \text{L}$
本剤 10L が投入予定量です。



③ 投入予定量を3日間の稼働日数で分割します。
(一度に多量投入するとフロックが多量に生成する為)
分割した**投入予定量+1L**を1日の投入量として決定します。

投入予定量が 10L の場合。
3日間で投入する場合、
 $10 \text{L} \div 3 \text{日} = 3.3 \text{L/日}$
本剤 $3.3 \text{L/日} + 1 \text{L} = 4.3 \text{L/日}$



④ 3日後に循環水が透明になりましたら、投入量を徐々に減らします。
その後は循環水の透明感を見ながら投入量を適宜調整して下さい。

ブース処理剤 簡易試験方法

ペットボトルに約 400ml ブース用水を採取

ブース処理剤を約 0.4ml 添加してよく振とうする。

濁った状態

ブース処理剤を更に 0.4ml 添加して振とうする。

透明 (フロック生成)

ブース処理剤の必要添加率を算出

0.4ml で透明 → 用水に対して 0.1%必要
1.2ml で透明 → 用水に対して 0.3%必要

ペットボトルのキャップ内側に、本製品を 0.4ml 計量した状態。



■ プースの管理方法

投入時	<ul style="list-style-type: none"> ・ プースの稼動中に投入して下さい。 ・ 投入後最低 30 分間はプースの稼動を止めないで下さい。 ・ 投入時間は特に決まっています。
投入箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・ プース処理剤が十分に分散する箇所（液流がある）に少しずつ投入して下さい。 ・ 本剤を <u>1 箇所に 1 度に多量投入しないで下さい。</u>
フロックの処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生成したフロックは当日、又は翌日に除去してください。 ・ 投入後、3 時間以降経過してから除去して下さい。 ・ 細かいフロックは除去する必要はありません。 ・ 除去したフロックは塗料中に有害物がなければ一般産業廃棄物扱い又は焼却処理を行なう事が可能です。

■ 注意事項

- ・ マイノール D-750 の取り扱いにはゴム手袋・保護眼鏡等の保護具を着用して下さい。
- ・ 薬剤が身体にかかったときは水で良く洗って下さい。もし、眼に入った場合は直ちに清浄な水で15分以上洗浄し、医師の手当てを受けて下さい。

■ 性状・荷姿

外 観	白色粉末
見 掛 比 重	0.7~0.8
pH(0.25%水溶液)	11.8 (翌日pH=8.5~9.5に落ち着きますが錆びません。)
15Kg 入り	

■ 適用法令

(詳細は SDS を参照して下さい)

労働安全衛生法	: 通知物質	水酸化カルシウム	50~60%含有
		アルミニウム水溶性塩	1~10%含有
		シリカ	2%以下含有
毒劇物取締法	: 非該当		
消防法(危険物)	: 非該当		
化学物質管理促進法 (PRTR 法)	: 非該当		

製造販売元
理系化学工業株式会社
本社/工場 〒679-0302
 兵庫県西脇市黒田庄町黒田 1603-5
 TEL 0795-28-5150 FAX 0795-28-5148
 URL <http://www.rikeichemical.com>
 E-mail info@rikeichemical.com

2025 年 1 月 13 日(2 版)